



## 三菱ルームエアコン 別売 室外機凍結防止ヒーター

### 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事前に、この据付工事説明書と室内機同梱の据付工事説明書を必ずお読みください。

### 安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、①「据付工事後の確認」を必ず確認し、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。  
お客様に、大切に保管いただくように依頼してください。

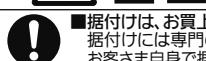


(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。

指示を守る

電源プラグを抜く



■据付けは、お買上げの販売店または、専門業者に依頼する。

据付けには専門の知識と技術が必要です。

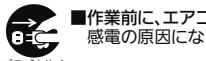
お客様自身で据付工事をされ不備があると、火災・感電・室外機の転倒・落下によるケガ・水漏れの原因になります。

■ヒーターおよび外気温サーミスターのリード線は指定の位置に確実に固定する。

固定に不備があると、感電・火災・故障の原因になります。

■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
火災・感電・室外機の転倒・落下によるケガ・水漏れの原因になります。

■ネジは確実に締め付ける。また、使用忘れ・取付忘れはないか、確認する。  
不備があると、部品の転倒・落下によるケガの原因になります。



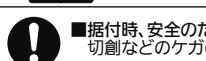
■作業前に、エアコンのプラグを抜くかブレーカーを切る。

感電の原因になります。

プラグを抜く



(誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの)



■据付時、安全のため、適切な保護具を使用する。

切創などのケガの原因になることがあります。

### 1 使用部品

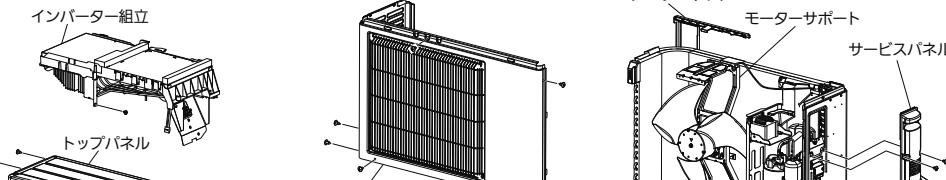
●取付前に使用部品を確認してください。(機種によって使用しない部品があります)

①ヒーター	.....1	⑥配線図(SG79N687H01) .....	1
②アルミテープ	.....3	⑦配線図(SG79V564H01) .....	1
③ヒーターカバー	.....1	⑧コネクター .....	1
④ヒーター基板(ヒーターとの接続線付き)	.....1	⑨外気温サーミスター(2列熱交換器用) .....	1
⑤止めねじ(ヒーター基板固定用)	.....1	⑩外気温サーミスター(1列熱交換器用) .....	1

### 2 ヒーターの取付準備

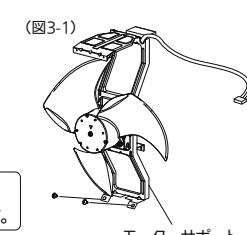
(1) 最初に必ず、エアコン専用ブレーカーを切ります。  
または、電源プラグをコンセントから取外します。

(2) トップパネル、フロントパネル、コンデンサーネット、  
サービスパネル、電気品(インバーター組立)を取り外します。

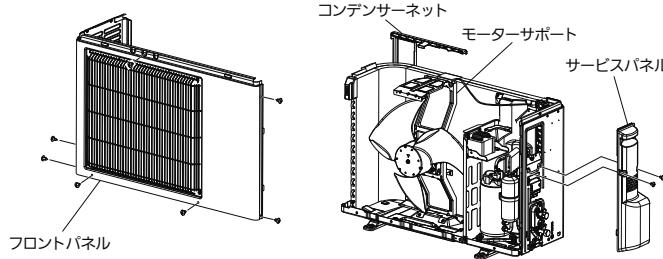


### 3 ヒーターの取付

(1) セパレーターのクランプを解いて、モーターのリード線を  
取り外しモーターサポートを取り外します。(図3-1)



(2) 熱交換器の左下を持って、熱交換器を少し持ち上げます。  
ヒーター①をベースのみぞに合わせて、熱交換器の下に差込み、  
ヒーターカバー③を取付けます。(図3-2)



(3) アルミテープ②でヒーター①、ヒーターカバー③を固定します。

(4) モーターサポートを元どおりに取付けます。

※締付トルク 1.5~1.7N·m

お願い

ネジは十分に締付けてください。

ネジがゆるんでいると振動によりビビリ音が発生する場合があります。

### 4 外気温サーミスターの取付

●機種により外気温サーミスターが取付けられていません。

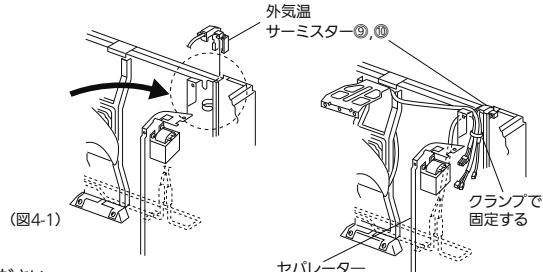
●外気温サーミスターが取付けられていない機種は必ず外気温サーミスター⑨,⑩を取付けてください。

外気温サーミスター⑨,⑩が取付けられていないとヒーター①が正しく制御されません。

●外気温サーミスターは、熱交換器が2列の場合は⑨を使用してください。熱交換器が1列の場合は、  
外気温サーミスター⑩に交換して使用してください。

(1) 外気温サーミスター⑨,⑩を熱交換機の上側角に、引っ掛けるように取付けます。

(2) ヒーター①と外気温サーミスター⑨,⑩とファンモーターのリード線を同時に  
セパレーターのクランプで固定します。(図4-1)

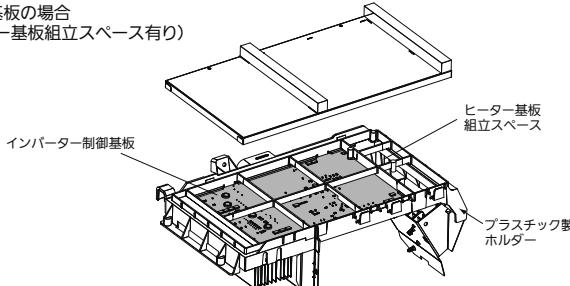


### 5 インバーター組立の形態確認

●機種によって接続方法が異なります。下記に示す電気品(インバーター組立)の形態によって、A,Bどちらかを選択してください。

#### Aの場合

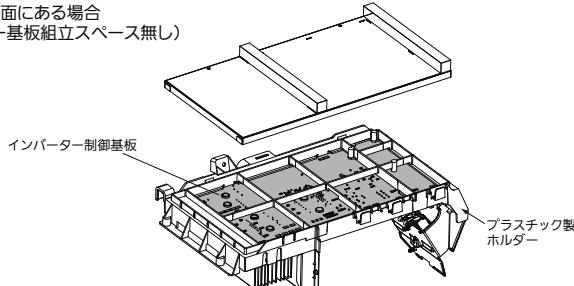
小さい基板の場合  
(ヒーター基板組立スペース有り)



裏面A6~A8に従って取付けてください。

#### Bの場合

基板が全面にある場合  
(ヒーター基板組立スペース無し)



裏面B6~B8に従って取付けてください。

## Aの場合(つづき)

## A6 配線の接続

配線図は⑥,⑦の2種類が同梱されていますので、配線図の右下に記載されている番号を確認して選択してください。

- (1) ヒーター基板④をインバータ制御基板の横に止めねじ(1本)⑤で取付けます。  
(ヒーター基板④)にはヒーター①とインバータ制御基板との接続線が付いています。

- 結線は配線図(SG79N687H01)⑥を確認してください。

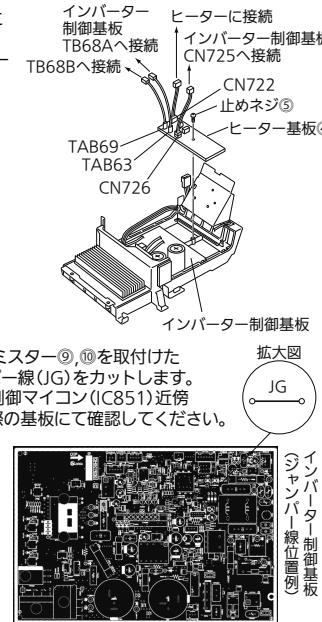
- (2) ヒーター基板④のCN726とインバータ制御基板のCN725を接続します。  
ヒーター基板④のTAB69とインバータ制御基板のTB68Bを接続します。  
ヒーター基板④のTAB63とインバータ制御基板のTB68Aを接続します。

- (3) ④ 外気温サーミスターの取付け で外気温サーミスター⑨,⑩を取り付けた場合のみ、インバータ制御基板上のジャンパー線(JG)をカットします。

- ジャンパー線の位置は基板ごとに異なります。制御マイコン(IC851)近傍もしくはLED近傍に配置されていますので、実際の基板にて確認してください。

## お願い

ジャンパー線(JG)があると外気温サーミスター⑨,⑩が無効になりヒーターが正しく制御されません。  
外気温サーミスター⑨,⑩を有効にするために、必ずジャンパー線(JG)をカットしてください。



## A7 ヒーターの配線

電気品(インバータ組立)は右図のようにセパレーターの上にたてて置くことができます。  
配線を接続する際に、リード線の長さに余裕がある配線は、この状態で接続してください。  
リード線が短い配線は電気品(インバータ組立)を元の状態にしてから接続してください。

- (1) ヒーター①と外気温サーミスターとファンモーターのリード線を同時にセパレーターのクランプで固定します。

- (2) ヒーター基板④に付いている接続線と、ヒーター①のリード線を接続します。

- (3) インバータ制御基板に接続されていたコネクター、リード線を元どおりに取付けます。

外気温サーミスター⑨,⑩のコネクターを取付けます。セパレーター  
(コネクター位置の詳細はサービスハンドブックを参照してください)

- (4) ヒーター①のリード線はリアクターや配管に当たらないように取り回します。

- (5) 電気品(インバータ組立)、フロントパネル、コンデンサーネット、サービスパネルを元どおり取付けます。  
※締付トルク 1.5~1.7N·m

## お願い

ネジは十分に締付けてください。  
ネジがゆるんでいると振動によりビビリ音が発生する場合があります。

## A8 配線図の貼付

- (1) トップパネルの内側に付属の配線図(SG79N687H01)⑥を貼付けます。

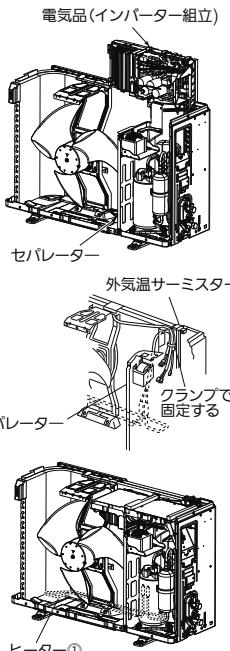
配線図は⑥,⑦の2種類が同梱されていますので、配線図の右下に記載されている番号を確認して選択してください。

- (2) トップパネルを元どおりに取付けます。  
※締付トルク 1.5~1.7N·m

## お願い

ネジは十分に締付けてください。  
ネジがゆるんでいると振動によりビビリ音が発生する場合があります。

- (3) エアコン専用ブレーカーを入れます。  
または、電源プラグをコンセントに差込みます。



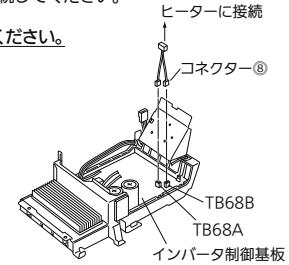
## Bの場合(つづき)

## B6 配線の接続

配線図は⑥,⑦の2種類が同梱されていますので、配線図の右下に記載されている番号を確認して選択してください。

- (1) コネクター⑧をタブ端子TB68AとTB68Bに接続してください。

- 結線は配線図(SG79V564H01)⑦を確認してください。



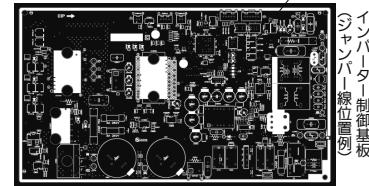
- (2) ④ 外気温サーミスターの取付け で外気温サーミスター⑨,⑩を取り付けた場合のみ、インバータ制御基板上のジャンパー線(JG)をカットします。

- ジャンパー線の位置は基板ごとに異なります。制御マイコン(IC851)近傍もしくはLED近傍に配置されていますので、実際の基板にて確認してください。



## お願い

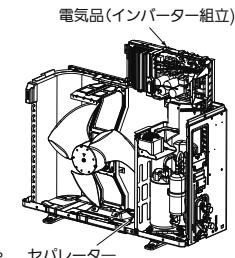
ジャンパー線(JG)があると外気温サーミスター⑨,⑩が無効になりヒーターが正しく制御されません。  
外気温サーミスター⑨,⑩を有効にするために、必ずジャンパー線(JG)をカットしてください。



## B7 ヒーターの配線

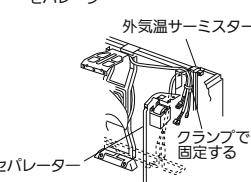
電気品(インバータ組立)は右図のようにセパレーターの上にたてて置くことができます。

配線を接続する際に、リード線の長さに余裕がある配線は、この状態で接続してください。  
リード線が短い配線は電気品(インバータ組立)を元の状態にしてから接続してください。



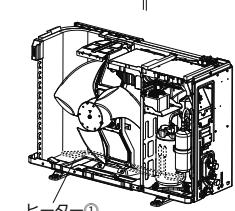
- (1) ヒーター①と外気温サーミスターとファンモーターのリード線を同時にセパレーターのクランプで固定します。

- (2) 先にインバータ制御基板に取付けたコネクター⑧と、ヒーター①のリード線を接続します。



- (3) インバータ制御基板に接続されていたコネクター、リード線を元どおりに取付けます。

外気温サーミスター⑨,⑩のコネクターを取付けます。セパレーター  
(コネクター位置の詳細はサービスハンドブックを参照してください)



- (4) ヒーター①のリード線はリアクターや配管に当たらないように取り回します。

- (5) 電気品(インバータ組立)、フロントパネル、コンデンサーネット、サービスパネルを元どおり取付けます。  
※締付トルク 1.5~1.7N·m

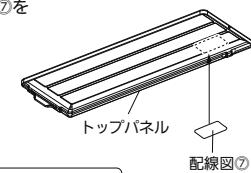
## お願い

ネジは十分に締付けてください。  
ネジがゆるんでいると振動によりビビリ音が発生する場合があります。

## B8 配線図の貼付

- (1) トップパネルの内側に付属の配線図(SG79V564H01)⑦を貼付けます。

配線図は⑥,⑦の2種類が同梱されていますので、配線図の右下に記載されている番号を確認して選択してください。



- (2) トップパネルを元どおりに取付けます。  
※締付トルク 1.5~1.7N·m

## お願い

ネジは十分に締付けてください。  
ネジがゆるんでいると振動によりビビリ音が発生する場合があります。

- (3) エアコン専用ブレーカーを入れます。  
または、電源プラグをコンセントに差込みます。

- 寒冷地ではドレンが凍結し、ファンが回らなくなるおそれがありますので、寒冷地用ではないドレンソケットおよびビニールホースは取付けないでください。  
ご使用になる場合は、寒冷地用ドレンソケットをご使用ください。(取付方法は寒冷地用ドレンソケット(別売部品)の据付工事説明書をご覧ください)

## 9 据付工事後の確認

の中に✓印をいれて確認してください。

確認後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。

トップパネル、フロントパネル、サービスパネルはネジでしっかりと固定されているか?

「安全のために必ずお守りください」の項目を確認したか?